

平成 30 年第 3 回男女共同参画推進特別委員会議事録

1. 前回議事録参照

2. 第 46 回日本救急医学会総会・学術総会 委員会企画

・日時：平成 30 年 11 月 19 日 15:50-17:20（現時点で）

・司会，パネリストについては前回決定の通り

① 厚労省 石丸様（働き方改革の現状，10-15 分程度）

② 松本先生（働き方改革に関する特別委員会から提言）

③ 木田先生（これまでの男女共同参画推進特別委員会のデータから今回の働き方改革に向けての課題？現実はどうなんだ，現場は思っている，イクボスにはなりたいが現実はどうなんだなど）

・ディスカッション内容

✓ 応召義務

もともとは行政の立場から医師の労働時間を減らすには国民への理解が不可欠であるという考えである。あくまで受診患者，救急患者をへらす目的ではなく，応召義務を理解した上で診療以外の負担になっている部分を減らしていく方向で話をしてはどうか？応召義務について明確な提言をだすのは難しい。→アンサーパッドで「時間外 IC とかしていますか？」「時間外手当もらっていますか？」「対価が安すぎるのでは？」

✓ タスクシフティング

・菊野先生に NP の現状を伺う。

・タスクシフティングに対する国民，救急領域以外の他科の理解

・クラーク，MSW など：国からの補助

・来年度の予算にタスクシフティングに対する予算が組み込まれている？！

・アンサーパッド：“100 人会議”を使用

・現時点でデータのない部分は設問を作りデータをその場でだす。

・小倉先生，畝本先生，松本先生で設問をまとめる。

・今救急の現場で何に対して困っているか。

・その他の意見

・救急医の健康管理・相談場所も必要

・学会所属の産業医

・労基が入る前に学会が察知して介入する

・救急医学会としての人材バンク→今現在現場を離れている人はどれくらいいる？どこかにデータはあるか？

・基幹病院（209施設）、関連病院の医師数のデータを集計できないか。

・11月5日に働き方改革に関する特別委員会が予定されている。

・その結果を踏まえて当委員会からも何らかの提言をだせるようにする。合わせてアンサーパッドの設問をまとめる。

3. 男性も入れる女性救急医ラウンジについて

・ミニ講演（伊藤先生承諾済み）

・スライド提供：各職場の若手の先生にスライド提供をお願いする

・アンケートについて：今までのアンケート結果も壁にはったりし情報提供を行う

・ラウンジ責任者：各個人で松本さんに連絡し調整

4. 次期委員について

・来年度は全員そのまま継続

・その次年度にむけて委員を推薦，選出

・今までの演題をだしてくれた人などを洗い出して抽出してみる

5. その他

・長谷先生：活動報告レターで報告

・今までのデータを論文化，日本救急医学会雑誌に投稿→本多先生

・日本医師会男女参画のイベント？12月9日に東京で開催予定